

モビリティ勉強会の取り組み

裾野市 市長戦略部 戦略推進課
トヨタ自動車(株) 未来創生センター
(株) 豊田中央研究所
矢崎総業(株)
(株)三ツ輪交通自動車

目的

- データを最大限活用し、裾野市の公共交通(バス・タクシー)による移動の実態を明らかにする
- その結果をもとに、公共交通の利便性向上につながる施策を検討する

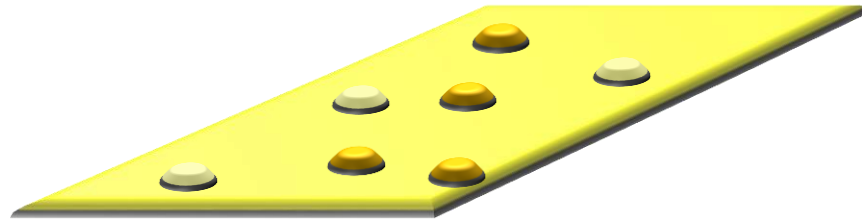
メンバー

- 裾野市 市長戦略部 戦略推進課
- トヨタ自動車(株) 未来創生センター
- (株) 豊田中央研究所
- 矢崎総業(株)
- (株)三ツ輪交通自動車

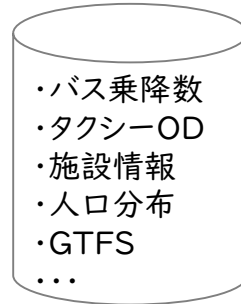
頻度

2時間程度/週 ※昨年より開始

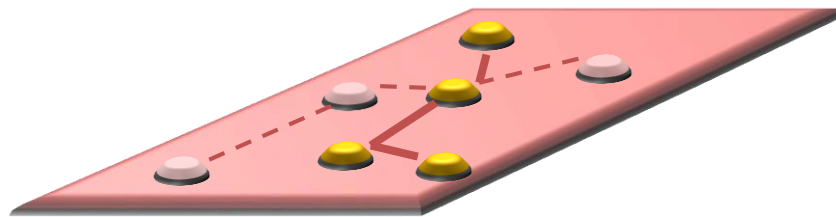
バス・タクシー利用の実態(ニーズ)を把握



データ



実装・トライ



サービス立案

分析事例:

- バス(市内循環線)の利用実態の推定
- バス(全路線)の利便性の評価

元データ

バス停ごとに何人乗って、何人降りたのか

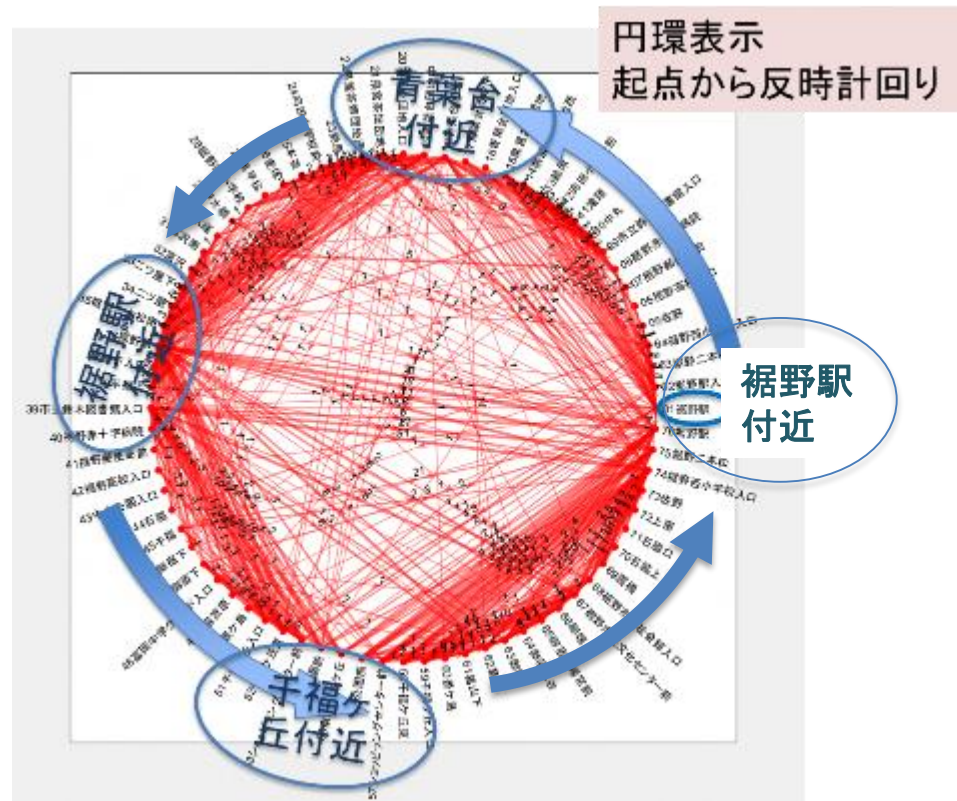
青葉台・千福が丘ルート 青葉台・岩波ルート	9:20		11:20		14:15	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
裾野駅			3		4	
裾野駅入口					1	
裾野二本松						
裾野西小入口						
佐野						
裾野高校入口						
裾野郵便局前						
裾野赤十字病院						
鈴木図書館入口			3	?		
中丸						
滝頭			3	1		
向田小学校前					1	
鈴原				2		
県営茶畑団西				2		
県営茶畑団地				2	3	
青葉台団入口						
青葉台団地中					1	
青葉台団地	1			2		

データ解析

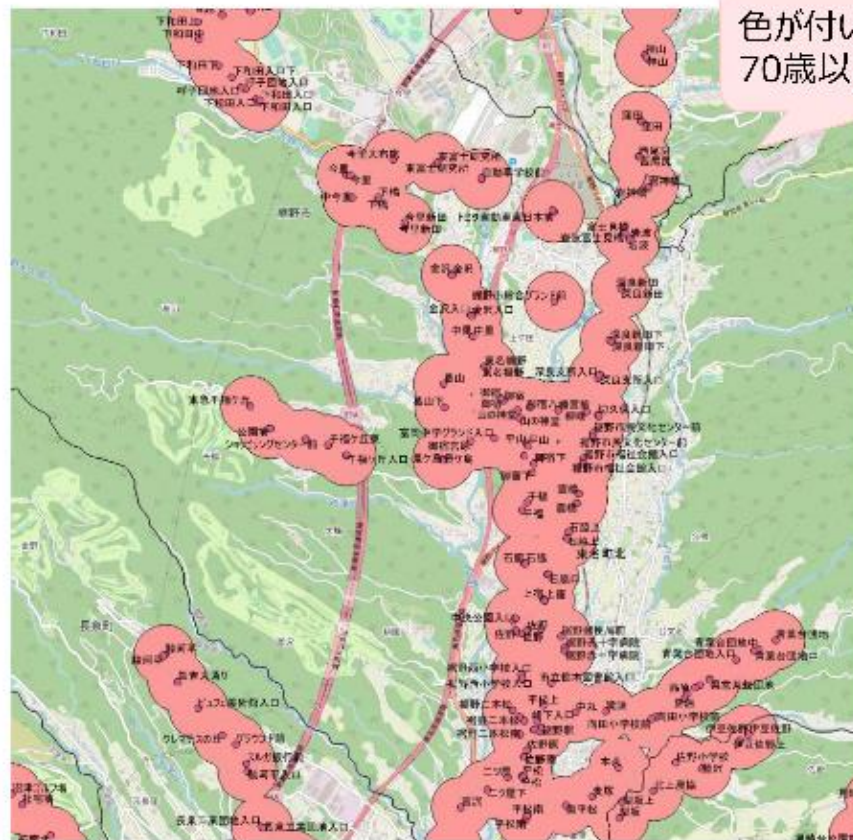


推定結果

あるバス停で乗った人がどこで降りたか



乗り込み調査を行い、推定結果の正しさは検証済み。
利用者の乗降パターンが、詳細に掴めるようになってきた。



色が付いている部分の
70歳以上の人口カバー率

バス停から300m圏内の人口カバー率を算出

対象とするバス停のバス路線

- 裾野市内循環バス
(千福がキルート or 岩波ルート)
- 須山線(須山⇄三島駅)
- 桜堤線(裾野駅⇄三島駅)
- 岩波循環線
- トヨタ自動車東日本線(三島駅⇄特別支援学校)
- ぐりんぱ・イエティ線(三島駅⇄イエティ)
- 富士登山線(三島駅⇄藤宮口五今三)
- 御殿場線(御殿場駅⇄三島駅)
- 十里木線(十里木⇄東名裾野IC)

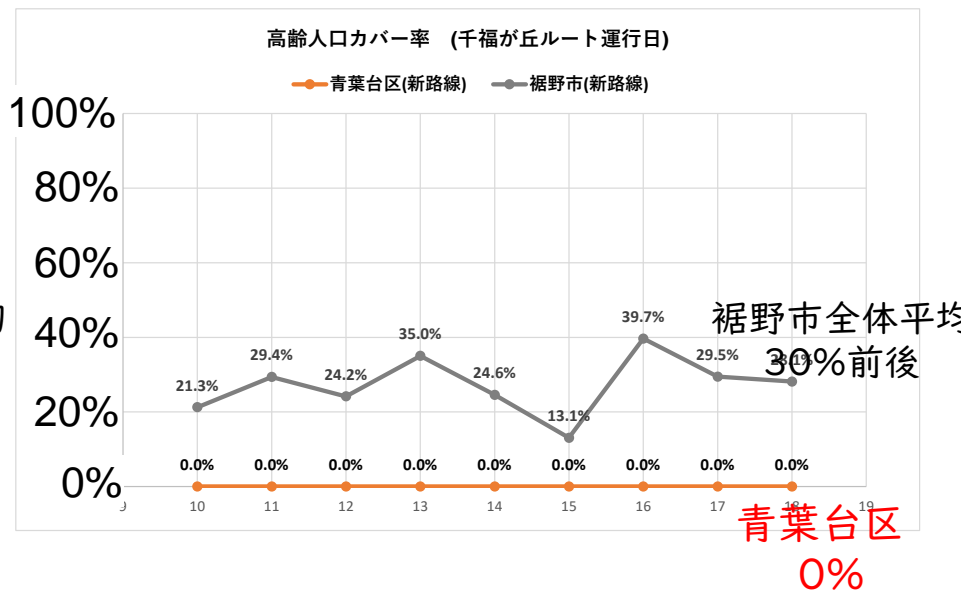
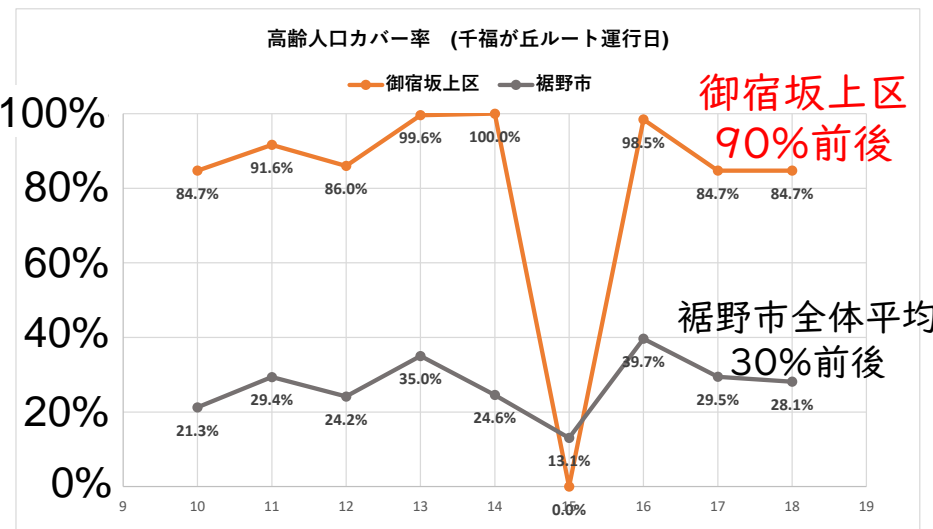
バス停300メートル範囲内に住んでいる70歳以上の人口比率
裾野市全体：78パーセント

バスを使って、行きたいところに何分で行けるか。

例：ベルシティに30分以内に到着できる70歳以上のカバー率

例：御宿坂上区

例：青葉台区



ある時間帯を除けば、高いカバー率(90%前後)を確保

30分以上かかるため、カバー率0%

今後、地区ごとの偏りも考慮しつつ、利用者目線での利便性を評価していく予定